



発行  
秦野市  
農業協同組合  
(神奈川県)  
〒257-0015  
秦野市平沢477  
電話 0463(81)7711(代)  
発行責任者 小島 敏雄  
印刷所 (株)JA情報サービス

### 今月の特集 4～5面

青パパイヤ期待集めスタート  
市内で今年初めて栽培が始まった品目、青パパイヤ。はだの都市農業支援センターは、栽培をサポートする他、消費者に対して積極的にPRを進めている。

### 9月訪問日もポスト投函

9月の組合員訪問日。化して機関紙「JAはだ」は、緊急事態宣言発令中の「のポスト投函での対応」のため、訪問方法を簡略化し、組合員の皆さまの健康と安全を第一に考えた上での対応です。ご理解をお願いします。ご用件のある方は、各支所・支店までご連絡ください。

コロナ影響で  
簡略化します

をまいた。今後、土寄せなどの管理を進め、収穫後は脱穀し、製粉してそば打ち教室の材料にする。市内では、かつて葉タバコの後作として多くの農家がソバを栽培していた。葉タバコの収穫後、肥料が残っている土壌がソバ栽培に適しているといわれ、品質の良い秋ソバが生産されていた。同会は、秦野で作られてきた伝統のソバを地域の人に知ってもらおうと、取り組みを続けている。

## 伝統のソバ 地域に伝える

上支所運営委が教室



協力してソバの種をまく参加者

### 遊休農地利用し活性化へ

上支所運営委員会は8月27日、菖蒲の畑で「そば作り教室」の種まきを行った。同教室は、栽培からそば打ちまでの一連の流れが体験できるもの。遊休農地を活用する

ことで、地域の農業活性化にも一役買っている。種まきには、組合員17人が参加した。新型コロナウイルスの感染対策として、互いの距離をとりながら作業。約10坪の畑にロープで目印を付け、手押し播種(はしゅ)機を使って約6坪のソバの種

をまいた。今後、土寄せなどの管理を進め、収穫後は脱穀し、製粉してそば打ち教室の材料にする。市内では、かつて葉タバコの後作として多くの農家がソバを栽培していた。葉タバコの収穫後、肥料が残っている土壌がソバ栽培に適しているといわれ、品質の良い秋ソバが生産されていた。同会は、秦野で作られてきた伝統のソバを地域の人に知ってもらおうと、取り組みを続けている。

## 秋の味覚サツマイモいかが

市内で、秋の味覚の一つ、サツマイモが旬を迎えている。平沢の山口雅之さんは、約80坪の畑で「紅はるか」と「シルクスイート」を栽培。家族で協力して10月下旬まで収穫に励み、市場や市内のスーパーなど



山口さん家族が協力してサツマイモを収穫

### 農繁期の 事故ゼロへ

JAはだのは10月31日(日)まで、秋の農繁期の事故撲滅に向け、秋期農作業安全運動を実施しています。期間中は、本所と各支所に農作業安全標語を記載した看板を設置しています。

農繁期の高齢化などに  
より、農作業中の傷害事故が全国的に増加傾向にありま

### 秋期農作業安全運動を実施中

### JAグリーン改装

タマネギ資材キャンペーンも



リニューアルしたJAグリーンはだの

が11日、店舗を改装してリニューアルした。入り口を車両通路側に移し、大きい自動ドアを設置して、開放感のある店舗のある店舗。本所の園芸資材店舗になった。事務所も店内に移動し、組合員や利用

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

# 掘り取り楽しく 市の特産をPR

落花生の収穫を楽しんで——JAやはたの都市農業支援センターは、生産者の協力で、さまざまな年齢層を対象に落花生の掘り取りを企画している。市を代表する特産物の収穫体験を用意することで、農業への理解を足している。

落花生は、JAやだの都市農業支援センターは、生産者の協力で、さまざまな年齢層を対象に落花生の掘り取りを企画している。市を代表する特産物の収穫体験を用意することで、農業への理解を促している。

“いっぱい取れた”  
ちやぐりんスクールで収穫

J Aはだのは4日、立で、落花生の収穫を体験。野台の畑でちやぐりんス栽培過程などの話も聞クールを開いた。市内のき、農業への理解を深め児童9人が参加し、西大た。

竹の高橋勇太さんの協力 児童は、高橋さんから



で味わった。

参加した児童の一人は「一つの株に落花生がたくさん付いていてびっくりした。いっぱい取れたから友達にもあげたい」

サツマも一緒に  
農家の労力軽減も

はだの都市農業支援センターは11日、落花生



サツマイモの収穫体験しながら農家と交流した。堀保存方法を直接聞くことも、魅力の一つだ。

橋正宏さん、協力で、15組の身が農作物を掘って、47人が収穫を満喫した。

体験は、1区画2000円、高橋さんは「収穫体験は参加者に喜んでもらえるので、早生で、労力の削減にもなる。種の落花、今後とも体験を受け入れ、生「郷の多くのの人に楽しんでもら香」10株、サツ

観光農業を学ぶ  
組合員基礎講座で体験

気持ちになった。秦野ならではの体験を楽しんでもらえるように、今後も協力していきたい」と話した。

J Aはだのは8日、組合員基礎講座のカリキュラムの一つとして、堀山下の畑で落花生の収穫体験を行った。J Aが力を入れている観光農業の取り組みを学習することが目的。大倉掘り取り観光組合の協力で、受講者12人が参加した。



受講者は、同組合の山口斧助さんから、落花生の収穫方法について説明を受けた後、収穫を体験。観光農業の取り組みについても学び、市内の掘り取り観光や農園オーナー制度などの企画について理解を深めた。

受講者の加藤逸子さんは「観光農業ではさまざまな取り組みがあることを知った。コロナ禍で遠出が減ったので、機会があったら他の体験にも参加したい」と感想を話した。

山口さんは「体験を通じて地域農業への関心を高めてもらうために、今後も引き続き協力していきたい」と話した。

接近!  
おじゃまします

ることで会社勤めと農  
業を両立してきた。定  
年後は茶の栽培に励み  
ながら、さまざまな組  
織のリーダーとして力  
を發揮している。

2011年から波多  
川生産組合長を5年間

務め、生産組合活動は  
もちろん、農道整備に  
も尽力。仲間と結束し、  
地域農業の振興に大き  
な役割を果たした。

15年には、果樹部会  
茶業部の部長に就任。  
秦野の茶の品質の高さ

やおいしさを、より多くのの人に知ってもらおうと、PR活動に力を注いできた。後継者の育成にも一役買い、若手の生産者を積極的の後押し。市長への足柄茶贈呈式に、部の役員

“信頼”“思いやり”大事に



(70)

「人とのつながりに  
は、信頼や思いやりが  
大事」と話す岩田さん。  
今年からは波多川自治  
会長と堀西連合自治会  
長に就任し、地域の期  
待を一身に背負い、活  
躍している。

やえのちゃんぴーなマンの  
「JAってなに??」

今回は「国産国産」に関係する四つ目のリスクについて知り

たいな。

四つ目は「世界的な人口増加」よ。現在、世界には約78億人が生活しているけど、この人口はさらに増え続け、2050年には97億人まで増加する見通しなの。

人口の増加が予測される地域の大部分は、アフリカとアジアの開発途上国よ。飢餓問題が解決し

ていない地域で、これ以上人口が増加すると、食料不足や栄養不足がさらに進んでしまうことが危惧されているわ。

今後、世界は食料の増産、食料供給の観点で大きなリスクを抱えているのよ。

それは大変だ。食料を安定的に確保するためにも、自国の食料自給率を向上させていくことが大切なんだね。次回は五つ目のリスクについて教えて！

人口増に対応した食料増産

## 現地 終盤の管理確認

JAはだのは7日、鶴期を逃すためと米の品質が低く、東田原の水田で水稲の収穫時期を遅らせるため、もみの色や収穫適期現地検討会を開き、水分量などを調べ、参加した米の生産適期に刈り取ることを呼び掛けた。さらに、冬に田んぼを耕すことで、雑草やスクミリンゴガイの防除につながることも伝えた。



現地検討会で稲の生育状況を確認

## 米収穫の秋 適期見極め

「ほしじるし」の多収米に期待 晩生で作期分散 JAはだのは14日、JA全農と連携して、北矢名の平井剛さん、美和子さん夫妻が栽培する多収米「ほしじるし」の水田4カ所を巡回した。水田やもみの状態を確認し、収穫適期を予測した。JA全農営農・技術セ

ンターの職員らが、生育適期となることを平井さん状況を調査。今年は気温が低く推移しているため、10月上旬が刈り取り種で、「ほしじるし」は晩生に植えても1週間ほど収穫時期が遅くなる。多収性があり、学校給食に供給する米として県内で期待が高まっている。JAは生産者と栽培契約を結び、あらかじめ設定した金額で全量を買収するため、生産者にもメリットが大きい。

イチゴ苗の花芽分化調査 定植時期探る やさい部いちご部は8、9の両日、本所農業団地センターの土壌診断室でイチゴの花芽分化調査を行った。苗の定植適期を見極めることが目的。県農業技術センターとJAの職員が、部員の持ち寄ったイチゴ苗を調べた。調査は、茎の中で成長している花芽の状態や苗の窒素量を確認するもの。苗の植え付け適期の目安を知ることができ、栽培を進める上で重要となる。職員は、茎の汁から硝酸窒素濃度を調査。その後、全ての葉を剥がし、顕微鏡や解剖用の針を使って成長点の状態を確認した。

回にわたって「ブドウシャインマスカット」の定植観測を行った。今年初めて導入した取り組みだ。県農業技術センターとJAの職員が8カ所を回り、園内のブドウ3房の糖度を定期的に計測。3房とも糖度18以上が確認できた際は、部員に園全体が収穫適期になったことを伝えた。導入したきっかけは、部員から「シャインマスカットは見た目の変化が少ないので、収穫適期の見極めが難しい」という意見が多くあったこと。具体的な数値を調べられるように、同部で光センサー式の糖度計を購入した。

## さあ 初収穫へ向け準備着々

### 畑巡回して 生育を確認

市内で今年初めて栽培が始まった品目、青パパイヤ。有害鳥獣からの被害を受けにくい作物として、はだの都市農業支援センターが特産化を目指している。センターは、生産者に苗を配布して栽培をサポートする他、消費者に対して積極的にPRを進めている。



青パパイヤの生育状況を確認する生産者ら

## 鳥獣害少なく特産化に期待

### TV旬菜ナビで放映

#### 生産者訪問 食べ方も紹介

19日に放送したtvk「かながわ旬菜ナビ」で、生産者の一人、曽屋の足立真弘さんの畑を訪れた濱立さんから、栽培の手応えと、鳥獣被害に悩まや感想などを聞いた。本所農業団地センターのサンパパイア（パパイヤン）として栽培を始めた青パパイヤについてリポート。足立さんは、鳥獣被害に悩まや感想などを聞いた。本所農業団地センターのサンパパイア（パパイヤン）として栽培を始めた青パパイヤについてリポート。足立さんは、鳥獣被害に悩まや感想などを聞いた。本所農業団地センターのサンパパイア（パパイヤン）として栽培を始めた青パパイヤについてリポート。

# 青パパイヤ



濱村さんが青パパイヤ料理に挑戦

### レシピ 料理を作ろう ソテーとスープ

「かながわ旬菜ナビ」で放送した、青パパイヤを使ったレシピを紹介し、レシピは番組のウェブサイトにも掲載しています。

#### ギニサンパパイア

フィリピンでよく食べられている、青パパイヤを使った簡単ソテー。

■材料（4人分）■ 青パパイヤ1個、ニンニク3片、タマネギ1/2個、トマト1個、合いびき肉100g、むきエビ100g、サラダ油大さじ2、塩小さじ1/2、黒こしょう少々、オイスターソース大さじ1、唐辛子1本、＜作り方＞ ①ニンニクとタマネギは、薄くスライスする。トマトは一口大に切る。

②青パパイヤは1/4に切って種を取り、薄くスライスする。水を張ったボウルに、切った青パパイヤと塩小さじ1/2（分量外）

を入れてもみ込む。10分ほど置き、水でよく洗って水気を切る。③中火で熱したフライパンにサラダ油を入れ、タマネギ、ニンニクの順に加え、タマネギに火が通るまで炒める。

④③にトマト、合いびき肉を順番に加え、肉の色が変わるまで炒める。むきエビを加え、塩を入れる。⑤エビが赤くなったら、②と黒こしょう、オイスターソースを加える。

⑥⑤に唐辛子を入れ、ふたをして中火で7～8分煮る。

#### ティノラスープ

フィリピンで風邪の時などに食べるスープ。ニンニクたっぷり、滋養強壮に。

■材料（4人分）■ 手羽先280g、A（ナンプラー小さじ1、こしょう少々）、青パパイヤ1個、タマネギ1/2個、ニンニク5片、ショウガ50g、ホウレンソウ1/2束、サラダ油大さじ2、水5カップ、コンソメ1個、唐辛子2本、塩少々、粒こしょう10粒、＜作り方＞ ①手羽先にAを入れ、もみ込む。

②青パパイヤは皮をむいて、横に6等分し、種を取る。さらに斜めに4等分し、10分ほど水にさらす。

③タマネギは、7～8mmの薄切りにする。ニンニクは、包丁でつぶす。

④ショウガは、太めの千切りにする。⑤鍋にサラダ油を入れ、中火で熱してショウガを入れる。火が回ったらタマネギを入れ、火が通るまで炒める。

⑥⑤にニンニクを加え、色が付くまで炒める。①を加え、焼き色が付いたら水を入れる。⑦5分ほど中火で煮る。沸騰したら、コンソメを入れる。さらに5分たったら、青パパイヤと唐辛子を入れ、青パパイヤが柔らかくなるまで煮る。

⑧ホウレンソウはよく洗い、3等分にざく切りする。⑦に入れて、沸騰したら火を止め、塩で味を調え、粒こしょうを散らす。

## 農福連携 へ第一歩

施設が農家視察 北矢名の宮村真樹さんは13日、市内2カ所の福祉施設関係者の視察を受け入れた。農福連携の取り組みを進めるため、互いの環境や作業内容を理解しようとする。意見交換し、障害者が従事できる作業を洗い出し、実施。部員27人が参加した。

### 骨を丈夫に

女性部が 講習会 女性部は15日、本所で「骨げんき食」の講習会を開いた。骨粗しょう症は女性に多いことから、普段の食事からできる予防方法を知らせてもらおうと実施。部員27人が参加した。

## 発見 頑張り屋

No.458

### 研究通し秦野を知る



尾尻在住で理学博士の八木茂さん。相模原市で生まれ育ち、大手事務機器メーカーに就職後、34歳で秦野市に移住した。市内の農家に古くから伝わる「秦野かりんとう」を研究し、妻の年子さんと一緒に成り上がった。研究通し秦野を知る。尾尻の「八木茂さん（71）」

けっしゅう年にははだのブランド」に認定されました。——かりんとうを研究したきっかけは？「なぜ秦野で特産的なかりんとうが作られてきたのか」と不思議に思ったこと。地域の方から話を聞き、市史や農業資料を調べ、たばこ耕作との関係性を解明した論文を18年のタバコ総合研究センターの「たばこ史研究」で発表しました。——他に取組んでいることは？小糞毛の自生種のワサビ田整備や、「はだの野鳥の会」の会長を務めています。最近ではワサビ田の水枯れの原因究明と対策、江戸時代の丹沢新聞と秦野ワサビの関係調査、全国でも初めての野鳥の繁殖観察の論文発表などをしていきます。——趣味は？野鳥の観察と山登りです。14年に日本百名山を単独で制覇しました。——今後は？これからも「秦野かりんとう」の素朴なおいさを広めていくとともに、秦野の食や自然、文化の新たな発掘を続けていきたいです。

## 十五夜飾り さわやかに



栗原さんが仕上げた十五夜飾り

じばさんずにお目見え 出荷者が秋の風情演出 五夜飾りがお目見えした。飾り付けたのは、同店に手作業まんじゅうなど、加工品を出荷する平沢の栗原悦子さん。季節の花や野菜を材料に使



「骨げんき食」の調理方法を学習 栗原さんは、自宅の庭にあるススキやコスモス、ケイトウなど7種類の花や野菜を材料に使

## 「シャイン」の糖度定点観測 高品質ブドウ出荷へ

果樹部会が、部は8月19日から30日までの3日間、市内2カ所の福祉施設関係者の視察を受け入れた。農福連携の取り組みを進めるため、互いの環境や作業内容を理解しようとする。意見交換し、障害者が従事できる作業を洗い出し、実施。部員27人が参加した。



果樹部会が、部は8月19日から30日までの3日間、市内2カ所の福祉施設関係者の視察を受け入れた。農福連携の取り組みを進めるため、互いの環境や作業内容を理解しようとする。意見交換し、障害者が従事できる作業を洗い出し、実施。部員27人が参加した。

栗原孝夫部長は「糖度が上がり上がってから収穫することができると、品質水準が上がる。今後も、部全体で質の高いブドウを生産していく」と話した。

## 支所・支店における金融事業の再編について

昨今の厳しい金融経済情勢の中、農林中央金庫は、各JAに貯金残高や事務量が一定値を下回る支所・支店の在り方について見直しすることを指導しています。これを踏まえ、JAはだのは、金融事業の再編として、業務集約によ

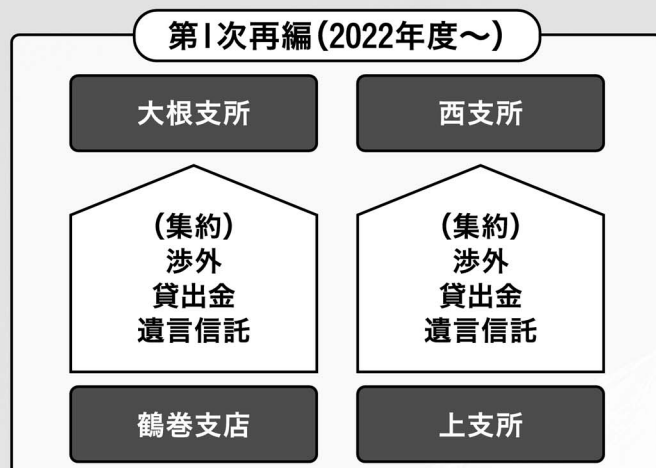
る効率化と総合的なサービスの維持の両立を図るため、段階的に第1次再編・第2次再編で金融事業の見直しを行います。組合員・利用者の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 第1次再編

2022年度より、第1次再編として、渉外・貸出金・遺言信託を、鶴巻支店は太根支所、上支所は西支所へそれぞれ業務集約します。

鶴巻地区の渉外担当者は大根支所から、上地区の渉外担当者は西支所から、各地区を訪問します。

生産組合や女性部、支所運営委員会などの組織活動は、従来通り行います。



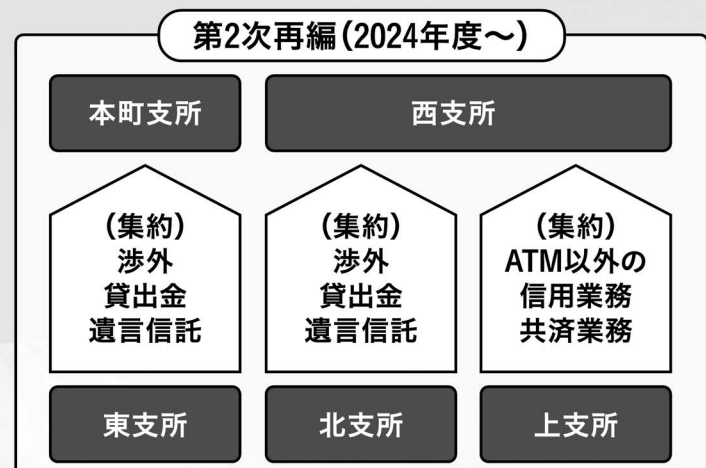
※2022年3月1日(火)が業務集約予定日です。  
※鶴巻支店・上支所の組合員を対象に、2021年10月から11月下旬ごろに説明会の開催を予定しています。

## 第2次再編

2024年度より、第2次再編として、渉外・貸出金・遺言信託を、東支所は本町支所、北支所は西支所へそれぞれ業務集約する他、上支所のATM以外の信用業務、共済業務を西支所へ集約します。

東地区の渉外担当者は本町支所から、北地区の渉外担当者は西支所から、各地区を訪問します。

生産組合や女性部、支所運営委員会などの組織活動は、従来通り行います。



※業務集約予定日は未定です。  
※組合員へは2022年度春・秋の座談会での説明を予定しています。

## 金融事業再編後の金融機能

| 大根支所                                        | 鶴巻支店                       | 本町支所                                        | 東支所                        | 南支所                                         | 北支所                        | 西支所                                         | 上支所 |
|---------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------|----------------------------|---------------------------------------------|-----|
| 渉外<br>貯金<br>振込<br>投資信託<br>遺言信託<br>貸出金<br>共済 | 貯金<br>振込<br>投資信託<br><br>共済 | 渉外<br>貯金<br>振込<br>投資信託<br>遺言信託<br>貸出金<br>共済 | 貯金<br>振込<br>投資信託<br><br>共済 | 渉外<br>貯金<br>振込<br>投資信託<br>遺言信託<br>貸出金<br>共済 | 貯金<br>振込<br>投資信託<br><br>共済 | 渉外<br>貯金<br>振込<br>投資信託<br>遺言信託<br>貸出金<br>共済 | ATM |

## 相談・提案機能の充実

金融事業再編による業務の集約とＪＡバンクアプリやＪＡネットバンクといった非対面取引の強化をはじめ、資産相談センターの設置により、効率的な店舗運営と高度な

相談・提案機能を提供し、これまで以上の専門的な相談・提案機能を発揮できる体制を構築します。

## 金融事業再編に伴う支所建て替え

金融事業の再編に伴い、北支所・上支所の渉外が西支所へ集約されることから、事務所拡張のため、西支所の

建て替えを行います。また、北支所も老朽化に伴い、金融事業再編に合わせて建て替えを行います。

| 取り組み方策スケジュール | 2021年度                                                                              |            |            |       | 2022年度    |      |       |       | 2023年度                                                                                |      |                                                                                       |       | 2024年度     |      |       |       |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|-------|-----------|------|-------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------|------|-------|-------|
|              | 3～5月                                                                                | 6～8月       | 9～11月      | 12～2月 | 3～5月      | 6～8月 | 9～11月 | 12～2月 | 3～5月                                                                                  | 6～8月 | 9～11月                                                                                 | 12～2月 | 3～5月       | 6～8月 | 9～11月 | 12～2月 |
| 金融事業の業務集約    |                                                                                     |            |            |       | 鶴巻・上→業務集約 |      |       |       |  |      |                                                                                       |       | 東・北・上→業務集約 |      |       |       |
| 北支所建て替え      |                                                                                     |            | 建設委員会設置・検討 |       | 建築工事      |      |       |       | 完成                                                                                    |      |  |       |            |      |       |       |
| 西支所建て替え      |  | 建設委員会設置・検討 |            |       | 建築工事      |      |       |       |                                                                                       | 完成   |  |       |            |      |       |       |
| 資産相談センター設置   | センター開設準備期間                                                                          |            |            |       |           |      |       |       | 業務開始 →                                                                                |      |                                                                                       |       |            |      |       |       |

# 文芸の窓

「俳句」(酒井 敏光 選)  
虫の戸を叩く家人は病みて留守  
森高 由子(渋 沢)  
丹沢の透けて山塊秋の風  
高島美和子(名古屋)  
初秋やかたちの詩口ずさむ  
吉田 清美(渋 沢)  
縄文の土器に縄目や稲つるび  
菊池としえ(菩 提)  
食べて寝て歩いて秋を覗きこむ  
志賀 明子(千 村)  
雑草と思へど愛し蜚草  
芦川 松江(八 沢)  
うら寒の樺巨木に秋の風  
石原 松枝(渋 沢)  
秋風や路傍の仏耳なくし  
高橋 順子(大森町)  
山風の静かさに居て女郎花  
柳川みち子(栄 町)  
鍵に鈴付けて久しい萩の家  
佐藤英美子(南矢名) 選者  
畔を往く犬のくさめや猫じやらし

「短歌」(久保寺 富男 選)  
アスファルトの継ぎ目のままだに立ち並ぶ  
雑草は背丈でリズム奏でる  
八木 実(鶴巻北)  
評 一線に並んだ草たちの高低を音符に見  
立てて心にリズムを想像しているの  
ある。電線にとまった鳥を楽譜に見立  
てた歌はよくあるが、草の背丈は意外  
である。  
家事離れ異国の地にて童心に  
かえりて我は馬上にゆらるる  
石田こずゑ(水神町)  
コスバだねと新聞書籍を朗読す  
ワクチン済ませし家居の一日を  
細田 富士(千 村)  
軒先を赤く彩るところがらしに  
食欲そるレシビ浮かび来る  
水落美和江(鶴巻南)  
躍動する鍛え抜かれし心技体  
パラリンピックに心から酔う  
安居院輝雄(上大槻)  
終戦日小学六年宿題の  
葉草採りで玉音聴けず  
伊東 久(渋 沢)  
人生を曲がり切りたる袋小路  
そんな思いに八十路蹠跟  
※選者による添削あり

## 特定生産緑地の指定期限に注意 2月に最終受け付けを予定

生産緑地は、指定から30年が過ぎると、税制特例措置を受けられなくなります。1992年に指定した生産緑地は、2022年に当初指定から30年が経過します。

引き続き同措置の対応を受けるためには、特定生産緑地の指定手続きが必要です。30年を過ぎると移行できなくなりますので、指定手続きが済んでいない方はご注意ください。市では、92年指定り計画課(882-9643)、JAはだの各支所・支店にご相談ください。

特定生産緑地に指定しない場合は、固定資産税が農地並み課税から宅地並み課税になります。また、相続税納税猶予の適用を受けている場合、次の相続で納税猶予の適用が受けられません。

「制度がよく分からない」などの疑問や不安がある場合は、市まちづくり計画課(882-9643)で相談してください。

|       |           |
|-------|-----------|
| 税務相談日 | 10月11日(月) |
|       | 午前9時30分～  |
| 法務相談日 | 10月21日(木) |
|       | 午後1時30分～  |
| 場所    | 本町支所      |

予約制です。事前にお電話にてご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。

受け付け・ご予約は協同コンサルトはだの 881-2329

## 東加工所が閉鎖

小麦やソバなどの製粉を行っていた東支所加工所は、設備の老朽化などにより、2021年10月29日(金)をもって閉鎖することになりました。組合員の皆さまには不便をお掛けし、大変申し訳ありません。

代わりとなる加工委託先については、JAはだのホームページのお知らせ欄で紹介しています。

## 野菜たっぷりキーマカレー

大根支部 伊藤 久恵さん



■材料(4～5人分)■  
ひき肉350g、タマネギ中1個、ニンジン小1/2本、カボチャ100g、ナス1個、トマト350g、パプリカ(赤・黄)各1/2個、サラダ油大さじ1、ニンニク1片、小麦粉大さじ3、カレー粉大さじ2と1/2、スープ(水200ccに野菜ブイヨン5g)、A(牛乳大さじ3、しょうゆ大さじ1、トマトジャム〈なければ砂糖〉大さじ1)、塩・こしょう適量

<作り方>  
①野菜をみじん切りにする。  
②サラダ油を引いた鍋にニンニクとタマネギを入れ、中火できつね色になるまで炒める。  
③ひき肉を入れ、色が変わったら①の野菜を入れる。しんなりしたら小麦粉とカレー粉を入れ、粉っぽさがなくなるまで炒める。  
④スープとAを入れて、水がなくなるまで煮込む。塩・こしょうで味を調えたら完成。

<ひとことアドバイス>  
ひき肉は牛・豚・鶏どれでも作れます。タマネギをしっかり炒めることで、味に深みが増しておいしくなります。半熟の目玉焼きか温泉卵を添えると、味がまろやかになります。

| 10月の女性部行事予定表 |                         |
|--------------|-------------------------|
| 5日(火)        | 13:00～本部役員会             |
| //           | 15:00～スマホアプリモニター体験      |
| 8日(金)        | 13:30～女性部文化交流会実行委員会     |
| 13日(水)       | 9:00～支部役員会(南)           |
| //           | 10:30～南支部「健康講話」         |
| //           | 13:30～支部役員会(大根)         |
| 14日(木)       | 9:00～支部役員会(東)           |
| //           | 9:30～支部役員会(西)           |
| //           | 10:30～東支部「健康講話」         |
| 15日(金)       | 13:30～支部役員会(本町・北・上)     |
| 18日(月)       | 9:00～シトラスリボン配布          |
|              | 9:30～家の光ッキングフェスタ(20日まで) |
| 21日(木)       | 13:00～南支部「グラウンドゴルフ大会」   |
| 26日(火)       | 13:30～神奈川県農協女性組織協議会役員会  |
| 28日(木)       | 9:30～パルスシステム神奈川組合員との交流会 |

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。お問い合わせは生活福祉課まで。882-7661

でぜひご利用ください。

## 秦野市農産物 品評会に出品を

農産物の生産意欲と栽培技術の向上を目的に、秦野市農産物品評会を開催します。

◎日程 11月18日(木)  
◎時間 搬入は午前8時30分から同10時30分まで。審査は午後1時から。  
◎会場 本所3階 虹の間・百合の間  
◎出品 農産物は、市内の農業者が自ら生産した農産物または加工品で、同一生産者から1品目につき1点とします。ただし、品種が異なればこの限りではありません。

▽出品物は、当日午前8時30分までに最寄りの支所へ提出するか、同10時30分までに会場に直接搬入してください。

▽出品物には、必ず出品票を付けてください。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般公開・即売はせず審査だけを行います。お問い合わせは市農業振興課まで。882-9626

## 最寿者に記念品贈呈

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

99歳(白寿)  
▽西地区 山口ヤマ尻

## いきいき女性部活動

## ボランティアひだまりの会

代表 小泉 裕子さん

私たちは、2015年度・16年度に本部役員を務めていたメンバーで、退任後にボランティアグループとして発足しました。コロナ禍で十分な活動ができていませんが、これまでに「ままメイトクラブ」への協力や調理実習室の清掃、農業まつりのバザーへの作品提供などを行ってきました。

「ままメイトクラブ」では、おやつ作りや子どもの遊び相手などをしています。バザーでは、2年間で120点余りの手作り作品を販売することができました。

これからもボランティアとして「ひだまりの会」らしさを追求していきたいです。感染症が落ち着いたら親睦会も復活させて、活力を取り戻し、皆さんに喜んでいただけるような活動をしていきたいと思っています。



(渋 沢)

88歳(米寿)  
▽大根地区 今井ヨシエ(北矢名)  
▽東地区 西島トメ(西田原)  
▽南地区 石井豊(尾尻)

77歳(喜寿)  
▽上地区 熊澤寛一(柳川)  
▽大根地区 関野勇(鶴巻南) 木村百合子(南矢名)  
▽西地区 平賀義雄(並木町) 古屋孝(渋沢) 諸星幸保(松原町)

半立(東田原)▽佳良賞 清水正夫・郷の香(鶴巻南) 高橋仁志・改良半立(上大槻) 山口美代子・郷の香(堀山下) 諸星一雄・改良半立(菖蒲)

センターで開いた。審査の結果は次の通り。  
▽優秀賞 小島晴夫・改良半立(上大槻) 諸星一雄・郷の香(菖蒲)▽優良賞 三嶽稔・郷の香(本町) 町田フヂ・改良

## 受賞おめでとう!

日頃の成果を発揮

第32回秦野市落花生立毛共進会を8月24日と9月13日に、市内圃場(ほじょう)と本所農業団地

コラム

地域に開かれたJ A運動

代表理事組合長 宮永均

はじめに

日本の農業協同組合には、正組合員と准組合員という組合員区分が存在し、法律上、正組合員のみ公益権が認められて

実効性の高い中計の策定に向けて

2016年4月の農協法改正で、政府は「准組合員の利用に関する規制の在り方について、法律の公布から5年間を経過する日までの間、正・准組合員の組合の事業利用の状況ならびに農業協同組合の改革の実施状況を



入、経営継承の推進、農業経営の法人化などに関する課題③農業者の成長段階に応じた資金調達の円滑化④農協改革の着実な推進——である。政府の規制改革推進会議農林水産ワーキンググループの方針が示された。

正・准組合員一体で地域支える

実際に果たすことを担ってもらおうと中期経営計画に定めたのである。

JA本所に設置した。同センターが目指すところは、地域と調和した持続可能な農業の実現と三者の専門性と連携を生かして、農業者への相談・指導の充実、地域住民への農業理解促進や就農支援と農地を活用する観点から遊休農地の解消と新規就農者の発掘を行うなど、農にかかわるさまざまなニーズに対応する体制をつくることを目的としている。

JAのミッションは「JA綱領」で明確に示されているように「農業と地域に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たす」ことであり、言い換えれば地域農業と組合員の農業を発展させる役割と、組合員の生活を支え住みよい地域づくりに貢献する役割を誠実に果たすということにある。都市的地域に立地するJAはだのはこの二つの役割を有機的に関連付け、一体的に取り組むことを大切にしてきた。このような視点も重視して

農協改革を巡る答申のポイント

自己改革実践サイクルの構築

- ①各JAで3項目を策定し、総会で決定
  - ・自己改革の具体的方針(所得向上の目標含む)
  - ・全事業で中長期の収支シミュレーション
  - ・准組合員の意思反映と事業利用の方針
- ②自己改革を実行
- ③実績を分析し組合員に説明
- ④さらなる改革へ方針を修正
- ①～④を毎年継続して実施→農水省が指導・監督

(日本農業新聞提供)

る。改革を推進するためには、多くの課題が山積している。人口減少、高齢化の進展、その農業生産基盤の弱体化の恐れ、SDGs(持続可能な開発目標)や環境変化に対する関心の高まり、コ

農業者・地域農業を大切にするという枠組みにとられずに、地域農業と農地を活用する観点から遊休農地の解消と新規就農者の発掘を行うなど、農にかかわるさまざまなニーズに対応する体制をつくることを目的としている。



多くの担い手を育てる「はだの市民農業塾」

3点だ。それらに対する支援を有機的に組み合わせ、効果的に実施することにも、構成団体や県などの担当部局と一体となる取り組みによって魅力ある都市農業の実現を目指している。特に②「人づくり」では、定年帰農や新規就農希望者の就農に関する相談・指導および就農後の営農相談などにより、農業の担い手確保・育成を図ることを目的とした「はだの市民農業塾」を06年に設置し、農業参画の形態に応じた3コースの研修を設定している。中でも新規就農コースは、これまでに80人が修了している。そのうち60人(農外からの新規就農者55人、農業後継者18人)が秦野市内で就農し平均25㌔の農地を耕作している。

# 告知板

売課まで。881-7718

## 休日ロースン 相談会を開催

住宅の新築・リフォーム  
お問い合わせは営業販

2021年産米穀の検査集荷について

2021年産米穀の検査集荷を下表の通り実施します。持ち帰り検査を希望する方は、◎印の検査日(合計4回)にお願

いします。10月21日(木)は持ち帰りだけの実施です。ぜひご利用ください。

また、庭先集荷を希望する方は、3営業日前までに各支所へお申し出ください。集荷運賃は1袋(30kg)当たり60円で、口座から引き落としま

| 検査予定日      | 検査場所      | 該当地域        |
|------------|-----------|-------------|
| 9月28日(火)◎  | 大根支所      | 大根          |
| 9月29日(水)   | 鶴巻ライスセンター | 鶴巻ライスセンター   |
| 10月5日(火)◎  | 大根支所      | 大根          |
| 10月7日(木)◎  | 本所        | 大根以外の全地域    |
| 10月12日(火)  | 大根支所      | 大根          |
| 10月14日(木)  | 大根支所      | 大根          |
| 10月19日(火)  | 鶴巻ライスセンター | 鶴巻ライスセンター   |
| 10月21日(木)◎ | 本所        | 全地域持ち帰り検査のみ |
| 10月28日(木)  | 大根支所      | 大根          |
| 11月2日(火)   | 大根支所      | 大根          |
| 11月4日(木)   | 本所        | 大根以外の全地域    |

ムや、車の購入、教育資金などに関するローンの相談をお受けします。ご来場の方には記念品を呈。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、相談される方は事前予約をお願いします。

◎日時 10月9日(土)午前9時〜午後4時  
◎場所 本所農業団地センター2階 調理実習室  
◎内容 午前は、県農業技術センターの職員による加工工程表に沿ったこんにゃく作りの講義・実演。午後は、個別の相談をお受けします  
お問い合わせは生活福祉課まで。872-7661

## ゴルフ大会中止

今年度の組合員ゴルフ大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止します。皆さまのご理解をお願いします。  
◎日時 10月21日(木) お問い合わせは生活福祉課まで。872-7661

## 加工相談会を開催

農産加工品をテーマにした相談会です。ごなだでもお気軽にご参加ください。  
◎日時 10月21日(木) お問い合わせは生活福祉課まで。872-7661

## 今月の生産者



## 小泉 達雄さん

米や小麦粉の他、みそ、しょうゆなどの加工品20種類以上(株)大地の代表として、大豆加工品などを出荷しています。食品添加物はできるだけ使用せず、食べる人の健康に配慮した商品作りに努めています。お薦めは、甘い物や辛い物などバリエーション豊富な「煎り大豆」です。おやつやおつまみにどうぞ。

### 出荷品目

## いばさんず NEWS

### 【10月のイベント】

新型コロナウイルス感染症対策のため、入店の際はマスクの着用と手指の消毒をお願いします。

☆「豆腐の日」2日(土)  
地元のお豆腐屋さんの商品を特別価格で販売します。

☆「旬の果物・野菜フェア」3日(日)、16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)  
旬の果物や野菜にスポットを当て、店舗外の特設コーナーで販売します。

☆「おすすめ商品の特売」5日(火)、19日(火)、26日(火)  
産地間提携を結ぶJAの商品など、お薦めの品を特別価格で販売します。

☆「新米フェア」9日(土)、10日(日)を予定  
いよいよ今年の新米が登場。秦野産の「はるみ」をご用意します。

☆「豚肉加工商品の日」15日(金)  
(株)フリーデンが国産豚を使用したお得な商品を販売します。

☆「たまごの日」毎週月、金曜日  
店頭価格から10%引き。「みく

営農技術

ヒント・ポイント

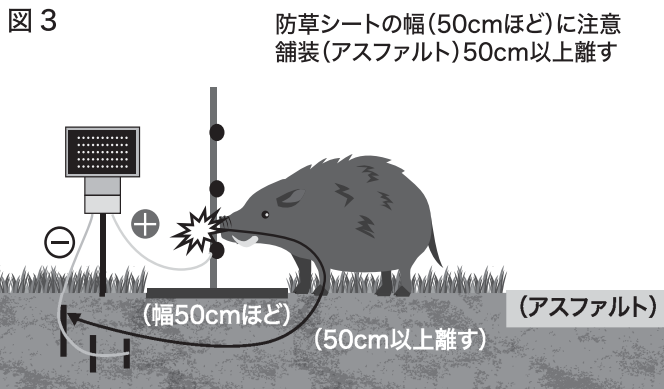
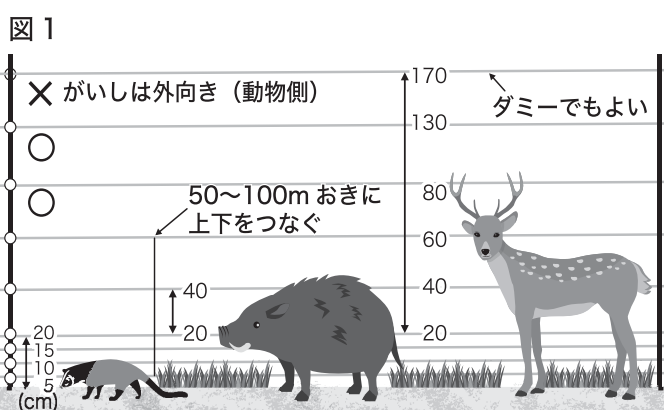
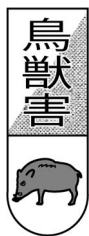
かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (朝原・矢野・島田)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

●果樹花き課 果樹(笹屋) ●作物加工課 作物(木村)

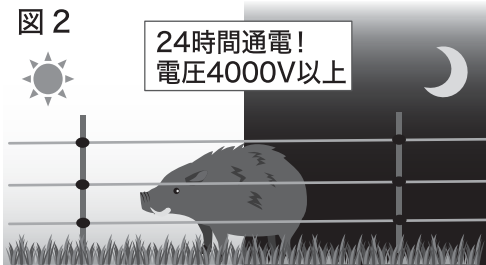
●花き 花き(青木) 加工(中山)

●野菜課 (草野)



電気柵は、動物が探索行動として鼻先で触る習性を利用して、感電の痛みを経験させることで、柵への恐怖心を学習させて、侵入を抑制するものです。

「電気柵が効かない」という声を時々聞きます。動物は、厚い皮や毛で覆われた部分で電気に触れても、十分に感電しません。また、電気が弱いため、動物に合った高さで電線を張ります。例えば、イノシシの場合は



際、電線を固定するがいしは必ず柵場の外側(動物側)に向けます。支柱は通電しないので、動物が支柱を押し倒す可能性があるので、電線の上下の段は、50〜100cmおきにつないでください。どこかの電線が切れたとしても、つないでおけば電流は流れます(図1)。

設置した後は、24時間通電しましょう。動物は早朝や夕方に活発に活動するので、その間に感電しないと、先述の通り侵入を抑制することができません。そして何より「電源の入れ忘れ」も防げます。

電気柵には電圧が4000V以上が必要です。電気柵用のテスターで確認しましょう。電圧は、本体の性能、電線の劣化、漏電、乾燥、アース不足など、さまざまな要因で増減します。小まめに確認して管理しましょう(図2)。

雑草などが電線に触れると、電圧が落ちる原因になるので、定期的に草刈りをしましょう。防草シートを活用すれば、草刈りの労力を減らせられます。

ただし、動物の四肢が防草シートに触れていると、うまく電気が流れないため、シートの幅に注意して設置しましょう(図3)。

電気柵を適切に張って、動物からの被害を防ぎましょう。

(朝原)

生産緑地地区の取得 あっせんについて  
秦野市から生産緑地法第13条に基づき、次の土地について生産緑地のあっせん依頼があります。

◎面積 2971平方メートル  
◎用途 農業に従事する方で、生産緑地として取得を希望する方は、市農業委員事務所農地利用担当まで。882-9654

農用地の広告物設置にご注意を  
看板などの屋外広告物の設置は「秦野市屋外広告物条例」で規制されています。

お相談ください。  
お問い合わせは市建築指導課まで。883-0883

◎業務内容 レジおよび品出しなど  
◎時給 1050円  
◎時間 午前8時〜午後7時 ※時間内でシフト制  
◎待遇 社会保険完備・交通費規定支給・車通勤可など  
お問い合わせは、いばさんずまで。881-7707

# より多くの組合員の声を ～ご意見・ご要望は書面・メールで～

## 意見・要望の受付方法

JAはだのは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「秋の座談会」の開催方法を変更し、組合員の皆様のご意見・ご要望を、書面・FAX・メールで受け付けます。

2021年度上半期の事業報告などについては、本号に掲載いたします。ご意見・ご要望のある方は、10月8日(金)までに下記の方法でお寄せください。なお、回答に必要なため、住所や氏名を必ず記入・入力していただきますよう、お願いいたします。また、いただいたご意見・ご要望の内容について、事務局より確認させていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。

① 今月の組合員訪問日に配布した「意見・要望書」を、各支所・支店・本所(組織教育課)に直接提出。またはFAXで組織教育課(84-1856)に送信。

② QRコードを読み取るか、専用メールアドレス(soshiki-iken@hdn.kn-ja.or.jp)宛てにメールを送信。



### 上半期事業特集号の発行に当たって

代表理事組合長 宮永 均

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けられている方々に対して、心からお見舞い申し上げます。組合員の皆さまにおかれましては、引き続き体調管理にご留意ください。

さて、例年9月から10月にかけて開催している「秋の座談会」ですが、感染症の影響により、今年度も通常通りの開催は困難であると判断しました。

つきましては、前回同様、JAの事業運営などに対する意見・要望を書面などで受け付けます。

感染症の拡大防止に配慮した対応にご理解を賜りますとともに、多くの組合員の声をJA運営に反映し、組合員の参加による協同組合運動を進めるため、ご意見をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

発行  
秦 野 市  
農業協同組合  
(神奈川県)

〒257-0015  
秦野市平沢477  
電話 0463(81)7711(代)  
発行責任者 小島 敏雄  
印刷所 ㈱JA情報サービス

## 上半期の主な軌跡

### 6月 June

■女性部が、コロナ禍でも住みやすい地域社会づくりに貢献しようと、シトラスリボン1200個を製作しました。感染者やその家族などへの差別や偏見をなくす取り組みで、ATM利用者らに、部員がプロジェクトを紹介しながら配布しました＝写真。

■花き部会が、日本赤十字社の県赤十字献血センターが行う「はなさか献血キャンペーン」に協力。所属する県花き園芸組合連合会を通して、部会員が丹精して育てたヒマワリを供給しました。ヒマワリは、横浜市や湘南地区など、県内11カ所の献血センターや献血バスで配布されました。

### 7月 July

■はだの都市農業支援センターが、青パパイアの現地検討会を開きました。生産者10人と県農業技術センターの職員が参加し、株の高さや葉の状態を観察し他、畑を管理する生産者から定植時期や追肥の有無などを聞き取りました＝写真。

■生産組合や業種別部会などからの要望を積み上げた「農林業施策・予算要望書」を市長、市議会議長へ提出しました。今回は、施策5項目41件と、予算19項目24件を要請。新規要請として、コロナ禍での経営継続補助金の恒久措置や自然災害への対応などを盛り込みました。

### 8月 August

■秦野市と「中学校給食における地場産品の活用に関する協定書」を交わしました。今年12月の中学校給食開始に向けて、互いに連携・協力し、新鮮な農産物を安定的に供給する他、生産者の確保・育成と生産振興を図ることなどを取り決めました＝写真。

■食料支援の取り組み「はだのにここいフードマーケット」に、米や加工品などを寄付しました。新型コロナウイルス感染症などの影響で食べるものに困っている市民約200人に、食料を提供。農家や女性部員に協力を呼び掛け、組織一体となって地域に貢献しました。

### 3月 March

■2021年度新採用職員7人が、研修の一環でTAC(地域農業の担い手に出向くJA担当者)と共に市内の農家を訪問しました。組合員との対話を通じて農業への理解を深めるとともに、JA職員としての心構えも学びました＝写真。

■事業連携協定を結ぶ生活協同組合パルシステム神奈川と協力して、秦野産の加工品「津久井在来大豆しょうゆ」を販売しました。2021年3月1週目のパルシステム組合員用の注文カタログにしょうゆを掲載したところ、多くの購入申し込みがありました。

### 4月 April

■南支所運営委員会が、支所管内にある平沢の体験型農園「名水湧く湧く(わくわく)農園」で、利用者の支柱立てや種まきの作業をサポートしました。市内唯一の体験型農園の運営を支援するため、委員4人が農園の利用者に丁寧に指導しました＝写真。

■組合員の長寿を祝う「いきいきライフ支援事業」で、100歳以上の組合員宅を訪問し、記念品を贈りました。組合員の健康を願い、喜寿、米寿、白寿、100歳以上の組合員を毎年祝っています。

### 5月 May

■青年部が「花いっぱい運動」の一環で本所の花壇を植え替えました。花卉(かき)農家の部員が生産したジニアやフロックス、ダリアなど220ポットを用意。部員8人が植え付け作業に汗を流しました＝写真。

■総代会に移行してから初となる第58回通常総代会をクアーズテック秦野カルチャーホール大ホールで開催しました。本人出席と書面合わせて596人の総代が、全7議案を可決し、新役員による執行体制がスタートしました。

## JAはだの「第六次中期経営計画」骨子(案)について

### 1 策定にあたって

JAはだのは、中長期的にわたって取り組む事項を整理するため、3年ごとに「中期経営計画」を策定し、それを基礎に単年度ごとの事業計画を具体化して実践しています。今年度が「第五次中期経営計画」の最終年度であるため、来年度以降の3カ年(2022～2024年度)に向けた「第六次中期経営計画」の策定を進めています。

### 2 計画策定の考え方

第六次中期経営計画は、自己改革を実践し続けるJAの使命として「次代につなぐ農業」「農業者の所得増大」「豊かなくらしづくり」の3本の柱を軸に、役職員と組合員に共通した人づくりの新たな指針として「学び、実践する」という「バリュー(行動規範)」を掲げました。これは、役職員は新技術や資格取得への意欲やチャレンジスピリットを持って業務に取り組むことを常に志し、組合員も自らより良いくらしづくりに向けて、組合員教育事業など、学びの機会を積極的に活用することを共有価値観とするものです。今後も組合員・役職員が同じ目線で、ともに協同組合の発展に向けて歩んでいく土台となる考えです。

JAの使命に対応する基本目標としては「持続可能な地域農業

の確立」「地産地消を中心とした販売力強化」「相談機能の強化と総合事業の積極展開」を設定します。さらに計画を効果的に実行するための土台として「持続可能な経営基盤の強化」を目指します。

地域に根差したJAの事業・活動には、新たに「SDGs(持続可能な開発目標)」17の目標との関連性も明示します。

計画の実践項目としては、これまでの「総合基本計画」を土台に、基本目標の達成に向けて、重点的に取り組む施策を「重点実践計画」として抽出し、明確化します。「重点実践計画」には、新たに数値化した成果目標を設定し、進捗管理していきます。

### 3 重点実践計画に盛り込む項目

#### ① 持続可能な地域農業の確立

- 営農指導の充実
- 農業生産基盤の維持・継続
- コスト削減と環境負荷に配慮した生産支援

#### ② 地産地消を中心とした販売力強化

- 「はだのじばさんず」の販売拡大
- 買い取り販売の拡大
- 学校給食への農産物の安定供給

#### ③ 相談機能の強化と総合事業の積極展開

- 資産相談センターの設置
- 専門的な金融相談機能の強化
- 日常的な金融相談機能の維持
- 非対面取引の充実と窓口業務の効率化

#### ④ 持続可能な経営基盤の強化

- 事業再構築計画の実践

### SDGs(持続可能な開発目標)について

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」(持続可能な開発目標)の略称で、地球を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指して、2015年9月の国連サミットで採択されました。

JAグループ神奈川は、2020年6月に開いたJA県中央会

理事会で「JAグループ神奈川2020-2030SDGs取組宣言」および「取組方策」を決議しました。県内JAは、SDGsの理解促進と事業・活動の実践を通じたSDGsの達成に資する取り組みを展開しています。このためSDGsとJA事業との関連性を明確にします。

## 中期経営計画の全体骨子 概要

### JAはだの基本方向

#### 基本理念

夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく

#### JAの使命①

次代につなぐ秦野農業

#### JAの使命②

農業者の所得増大

#### JAの使命③

豊かなくらしづくり

#### バリュー：行動規範・共有価値観

「学び、実践する」 組 合 員：組合員教育事業、健康管理活動、生活文化活動、各種研修会などへの参加  
役 員・職 員：新技術・知識・資格取得、チャレンジスピリット

「SDGs」に関連する事業の明確化

### 重点実践計画

#### 基本目標①

持続可能な地域農業の確立

#### 基本目標②

地産地消を中心とした販売力強化

#### 基本目標③

相談機能の強化と総合事業の積極展開

#### 基本目標④

持続可能な経営基盤の強化

#### 成果目標であるKPI(重要業績評価指標)を設定した重点施策

### 総合基本計画

「組織」「事業」「経営」の各分野における基本施策

# 豊かな社会を協同の力で!

JAはだの  
オリジナルキャラクター

びーなマン

やえのちゃん

## 2021年度上半期の状況

## JAはだののすがた

●2021年8月31日現在 ●かっこ内は前年同期実績  
●数字は単位未満切り捨て この特集号での数値は速報値です。

### 11 万ーに備えての共済

#### ●次世代・ニューパートナーへの取り組み

##### 長期共済新契約高

207億8千万円 (268億9千万円)

##### 長期共済保有高

4,178億3千万円 (4,269億3千万円)

##### 上半期に支払った事故共済金額

761件 8億円  
(817件 5億9千万円)

|    |     |                              |
|----|-----|------------------------------|
| 内訳 | 生命  | 441件 6億3千万円<br>(371件 3億6千万円) |
|    | 建物  | 105件 6千万円<br>(200件 1億4千万円)   |
|    | 自動車 | 215件 9千万円<br>(246件 9千万円)     |

### 12 活動のみのり

#### 上半期剰余金

2億3千万円  
(2億2千万円)



### 13 株協同コンサルトはだの

- マイホーム・アパートなどの建設の支援
- 入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん

#### 入居率

97.4% (97.9%)

※入居率はJA系統の管理会社  
2社の数値です。

### 8 暮らしのための 共同施設の利用

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止  
と多様化する葬儀形態への対応を両立  
した葬儀

#### 全体の取扱高

1億7千万円 (1億5千万円)

#### 主な施設の取扱高

- JAセレモニーホールはだの

123件 1億6千万円  
(115件 1億5千万円)

### 9 便利で安心 JAバンク

- 農業応援定期貯金の取り扱い

1,657件 19億3千万円  
(1,113件 13億5千万円)

- 年金相談会の開催

- 投資信託による資産形成のサポート

#### 貯金残高

2,351億9千万円  
(2,294億5千万円)

### 10 農業・生活・事業資金 などを融資

- 農業振興や生活・事業などの資金対応
- 貸出担当者による農業者訪問
- JAネットローンなど非対面チャネル  
の活用

#### 貸出金残高

423億1千万円  
(425億2千万円)

### 6 健康と福祉の取り組み

- 「JA健康寿命100歳プロジェクト」の  
展開
- 団体人間ドック受診の呼び掛け
- 「はだのじばさんず」出荷者を対象にし  
た健康に対する意識調査の実施

#### ▶長寿記念品

贈呈者人数 76人 (78人)

#### ▶人間ドック

受診者人数 249人 (191人)

### 7 生産資材と生活物資を供給

- 生産資材を安価で販売する店舗キャン  
ペーンの実施
- 安心・便利なパルシステムによる個人  
宅配の普及

#### 全体の供給高

13億3千万円 (13億5千万円)

|    |      |                 |
|----|------|-----------------|
| 内訳 | 生産資材 | 5億6千万円 (5億1千万円) |
|    | 生活物資 | 7億7千万円 (8億4千万円) |
|    |      |                 |

### 4 営農事業の取り組み

- 営農指導の充実

- 営農指導員の計画的な育成と現場対応力の  
強化

- 取引先のニーズに応じた農産物の販売と生  
産指導の強化

- はだの都市農業支援センターとの連携

- 「はだの農業満喫CLUB」への加入促進  
(メール配信システム登録数356人)

- 鳥獣被害防止に向けた取り組み

- (1)鳥獣被害に強い農産物の導入

- (青パパイア・葉ニンニクなど)

- (2)生息環境管理

- (3)侵入防止対策

- (4)個体群管理

- 青パパイアの特産化へ  
向け、苗の配布・現地検  
討会を開催



- 農産加工セミナーおよび加工相談会を開催

### 5 安全・安心な農産物の供給

- 「はだのじばさんず」を拠点とした新鮮  
で安全・安心な農産物の供給

- 地場産農産物の買い取りと供給拡大に  
向けた、買い取り販売システムの導入

#### 「はだのじばさんず」の利用状況

利用者総数 24万人 (26万人)

1日当たりの利用者数 1,367人 (1,457人)

取扱高 4億8千万円 (5億1千万円)

1日当たりの取扱金額 268万円 (285万円)

#### 全体の取扱高

9億4千万円 (9億6千万円)

### 1 みんなの仲間

組合員数 14,433人 (14,490人)

内 正組合員数 2,835人 (2,816人)

訳 准組合員数 11,598人 (11,674人)

組合員戸数 11,984戸 (12,002戸)

内 正組合員戸数 2,222戸 (2,234戸)

訳 准組合員戸数 9,762戸 (9,768戸)

### 2 資本の状況

#### 資本の合計

157億円 (154億6千万円)

内 出資金 16億7千万円 (17億円)

訳 準備金・  
積立金他 140億3千万円 (137億6千万円)

#### 単体自己資本比率 (2021年2月28日現在)

15.76% (国の基準4%以上、JAバンク自主  
基準8%以上)  
※資本は、貸借対照表の「純資産」  
のことです。

### 3 組織活動、教育広報の充実

- 協同組合活動の啓発と組織リーダー育  
成を目的に協同組合講座を開講

- 次世代対策活動「ちゃぐりんスクール」  
開催による食や農への理解促進

- ホームページやインスタグラムを活用  
した情報の発信

(インスタグラム配信回数24回)

- 農政活動の取り組みとして市長らに農  
林業施策・予算要望書を提出

- 秦野市と連携し特定生産緑地の指定  
手続きをサポート (受付数55件)